

日本医学会だより

JAMS News

2016年5月 No. 55
日本医学会

◆日本医学会協議会

日本医学会会長・副会長と日本医師会（日本医学会担当）役員で毎月開催している会議である。

◆第 83 回日本医学会定例評議員会

平成 28 年 2 月 17 日に開催した。平成 27 年度年次報告、平成 28 年度事業計画の報告のほか、第 29 回日本医学会総会 2015 関西の終了報告、第 30 回日本医学会総会 2019 中部の開催準備状況の報告があった。第 30 回総会の会期は、変更となり、2019 年（平成 31 年）4 月 27 日（土）～29 日（月・祝日）となった。これは、3 連休を含むほうがより多くの方が参加しやすいのではないかと意見が総会役員会にて出されたことによる。

平成 27 年度新規加盟学会は、日本認知症学会、日本集団災害医学会、日本小児血液・がん学会の 3 学会が承認され、126 学会となった。

◆日本医学会加盟検討委員会

平成 27 年度第 1 回日本医学会加盟検討委員会を、平成 27 年 11 月 13 日に開催した。加盟申請の 28 学会についての審査を慎重に行い、その結果を平成 28 年 1 月 13 日の日本医学会協議会で高久会長に報告した。

◆日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

第 12 回委員会を平成 28 年 3 月 31 日に開催した。ゲノム医療実用化推進タスクフォース

の進捗状況について、出生前診断における遺伝カウンセリング及び支援体制について等を議論した。

◆日本医学会利益相反委員会

第 13 回日本医学会利益相反委員会を、平成 28 年 3 月 28 日に開催した。①第 2 回研究倫理教育研修会（3 委員会合同）開催、②日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告、③診療ガイドライン策定にかかる COI 管理、④診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス案等について意見交換を行った。

◆日本医学会医学用語管理委員会

平成 27 年 12 月 1 日に平成 27 年度日本医学会分科会用語委員会を開催した。主な議題は、1. 分科会における医学用語集の作成あるいは改定に際しての提言、2. 日本医学会医学用語辞典 用語比較の書式 & 更新内容、3. 指定難病名に対する日本医学会医学用語管理委員会の対応、4. 医療現場で繁用される用語に関する問題提起、5. 標準病名マスターとその周辺の話題等である。

◆第 20 回日本医学会公開フォーラム

「肝炎」をテーマに、平成 28 年 6 月 18 日（土）13：00～16：00、日本医師会館大講堂において開催する（組織委員長：小池和彦・東京大学大学院医学系研究科消化器内科学教授）。市民を対象とした公開フォーラムであり、参加希望者は、郵便はがき、FAX、本会ホームページ

(<http://jams.med.or.jp/>) のいずれかの方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、ホームページにて映像配信する。

1. 序論：肝炎の疫学/小池和彦（東京大学大学院医学系研究科教授・消化器内科学）、2. B型肝炎の最新治療/四柳 宏（東京大学大学院医学系研究科准教授・生体防御感染症学）、3. C型肝炎の最新治療/竹原徹郎（大阪大学大学院医学系研究科教授・消化器内科学）、4. 今、注目の脂肪肝・NASHとは？/渡辺純夫（順天堂大学大学院医学研究科主任教授・消化器内科学）、5. 肝がんの最近の動向/黒崎雅之（武蔵野赤十字病院消化器科部長）

◆第149回日本医学会シンポジウム

今回は一般公開シンポジウムとし、「医学用語を考える—医療者・市民双方の視点から—」をテーマに、平成28年6月16日（木）13:00～17:00、日本医師会館大講堂で開催予定。組織委員：脊山洋右、森内浩幸、田中牧郎。参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会 HP 参照。

◆医学賞・医学研究奨励賞

平成28年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞（旧医学研究助成費）の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月号に公示。要項は本会に問い合わせいただきたい。受付期間は、5月15日（日）～7月4日（月）。推薦書は、公示日より日本医師会ホームページ（<http://www.med.or.jp/>）からダウンロードできる。

◆日本医学会への加盟申請

平成28年度日本医学会への新規加盟申請は、5月15日（日）に公示（日本医師会雑誌等）

し、7月31日（日）に締め切る。申請書は、公示日より本会ホームページ（<http://jams.med.or.jp/>）からダウンロードできる。

◆移植関係学会合同委員会

平成4年4月に発足した本委員会は厚生労働省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。

第33回委員会は、持ち回り開催とし、施設認定を行った。

◆研究倫理教育研修会

日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会主催の第2回研究倫理教育研修会を、「医学研究の適正化と倫理」をテーマに、日本医学会分科会の倫理委員会、編集委員会、利益相反委員会の代表者またはそれに準ずる者（各分科会3名以内）を対象として、平成28年5月16日（月）13:00～16:00、日本医師会館大講堂において開催する。

当日は、「医学雑誌編集ガイドライン」（北川正路東京慈恵会医科大学学術情報センター課長補佐）、「オーサーシップの問題点」（北村 聖東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター教授）、「産学連携の健全化と利益相反管理」（曾根三郎徳島大学名誉教授/徳島市病院事業管理者）、「診療ガイドラインの質と信頼性確保に向けた取り組み」（山口直人東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二講座主任教授）、「今日のゲノム医学・医療の倫理的課題」（福島義光信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座教授）、「研究倫理に関する医学系と他領域との全国的連携構想」（市川家國信州大学特任教授）の講演がそれぞれ行われる予定。